

第24回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成24年1月

応募者名：新潟県 新発田市 都市整備課

事業の名称：新潟都市計画道路3・4・11号

西新発田五十公野線(緑町工区)整備事業

実施都市名：新潟県 新発田市

事業目的

都市計画道路西新発田五十公野線(緑町工区)は当市のまちづくり交通計画で中環状に位置づけられた新発田市街地の幹線道路網の主軸となる重要路線である。中環状の西部及び東部の整備が完了し、中環状としての機能強化が進む中、多くの車両を未整備区間に集める状況となった。そのため地元からも同区間の早期整備を求められた。このことから、歩行者と車両が安全で快適に通行できる街路の早期整備と中環状としての機能発現を目的とし、事業に着手した。

事業概要

事業名称:新潟都市計画道路3・4・11号

西新発田五十公野線(緑町工区)整備事業

路線名:3・4・11号西新発田五十公野線

事業箇所:新潟県新発田市緑町

事業延長:650m

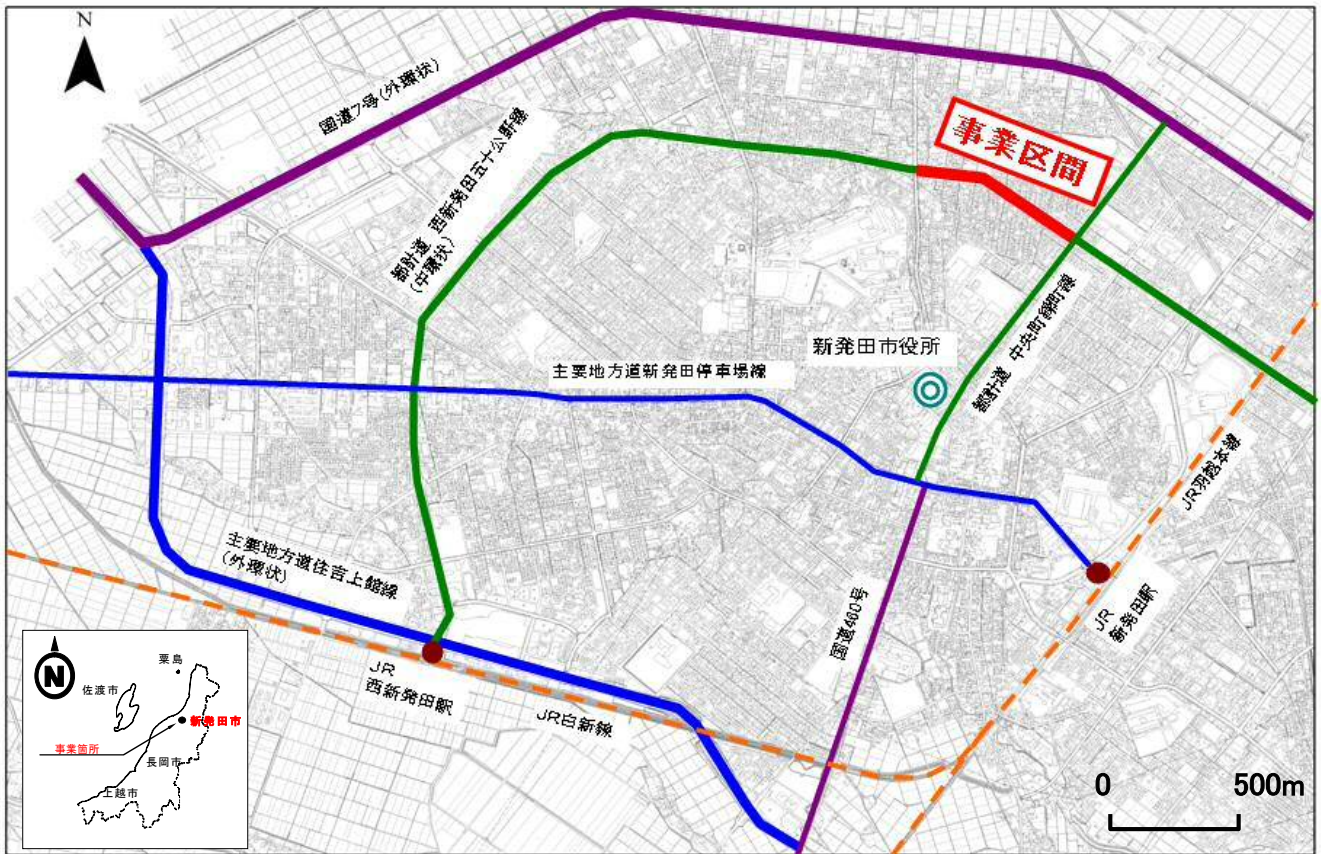
幅員:16.0m(車道3.0m×2 歩道3.5m×2)

事業費:16億円

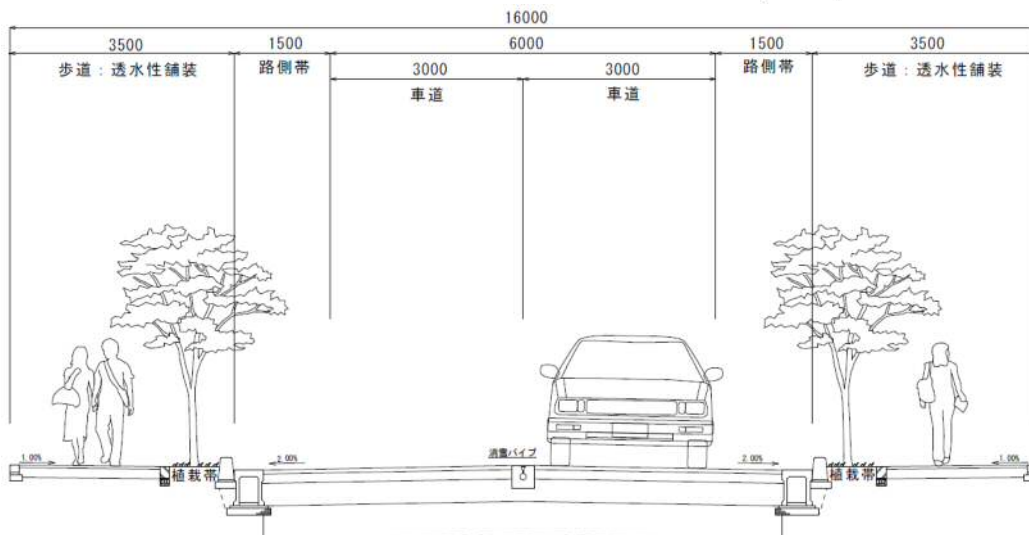
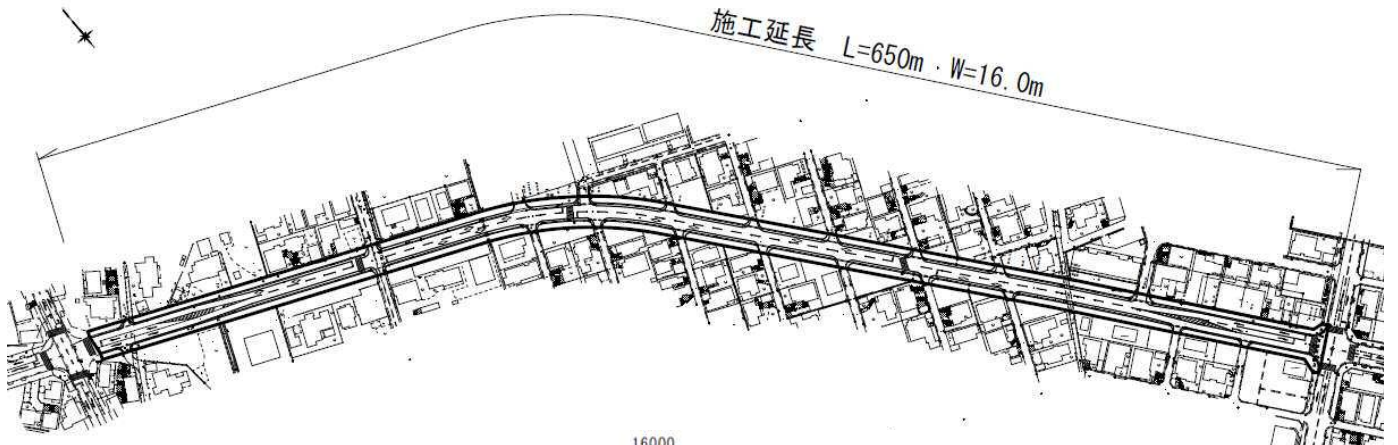
事業実施期間:平成18年～平成22年

本事業は、新発田市の中環状である西新発田五十公野線の未整備区間、緑町工区を整備した。中環状の機能が発揮されたことにより沿線周辺の市道の交通量が減少し、本来の生活道路としての機能を取り戻した。また、両側に歩道を設置したことで安全な歩行空間を確保することができ、併せて街路事業を契機に地域の防災意識が高まり、防災マップの作成や地域の一体感を生むことができた。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)



西新発田五十公野線(緑町工区)の整備効果アピール資料

〇事業概要

事業名:都市計画道路西新発田五十公野線(緑町工区)整備事業

路線名:都市計画道路西新発田五十公野線

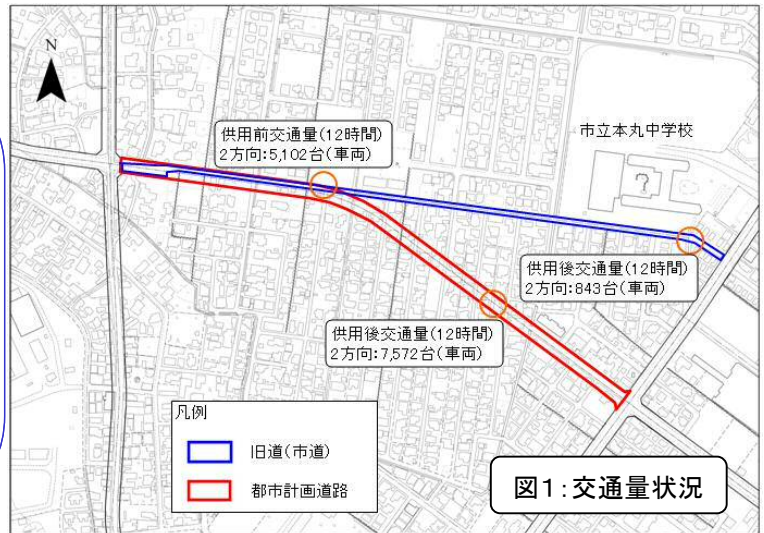
事業箇所:新潟県新発田市緑町1、3丁目

事業延長:650m

幅員:16.0m

総事業費:16億円

事業期間:平成18年度~平成22年度



「整備効果」

- 1 供用前まで抜け道となっていた旧道の交通量が減少したことで本来の生活道路としての機能を取り戻した。(図1)

供用前5,102台 → 供用後843台

- 2 中環状としての機能が発揮された。

主要地方道新発田停車場線 5,083台(H22センサス:12時間交通量)

西新発田五十公野線(緑町工区) 7,572台

- 3 沿線中学校のアンケート結果(図2)

①「供用した道路は歩行者及び自転車にとって安全な道路か」約76%が「安全」

②「旧道が安全になったか」約74%が「以前より安全」

「その他の事業効果」

道路完成に伴い地域の環境が変化する中で防災に関するワークショップを開催し、危険箇所、避難ルートの再点検等を実施し、地域防災の課題検討を行い、町内独自の防災マップを作成した。街路整備事業を通じ、住民同士の交流、協働が生まれた。



写真:防災マップ作成ワークショップの様子

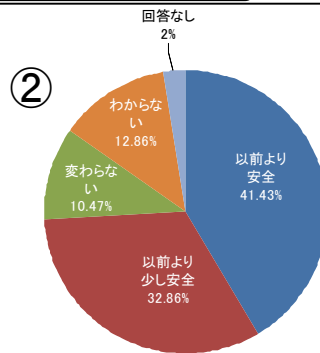
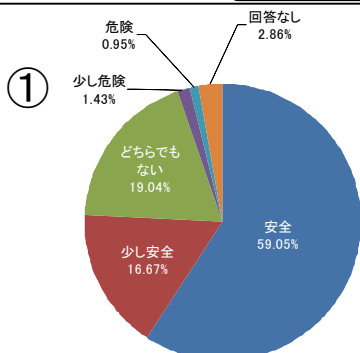
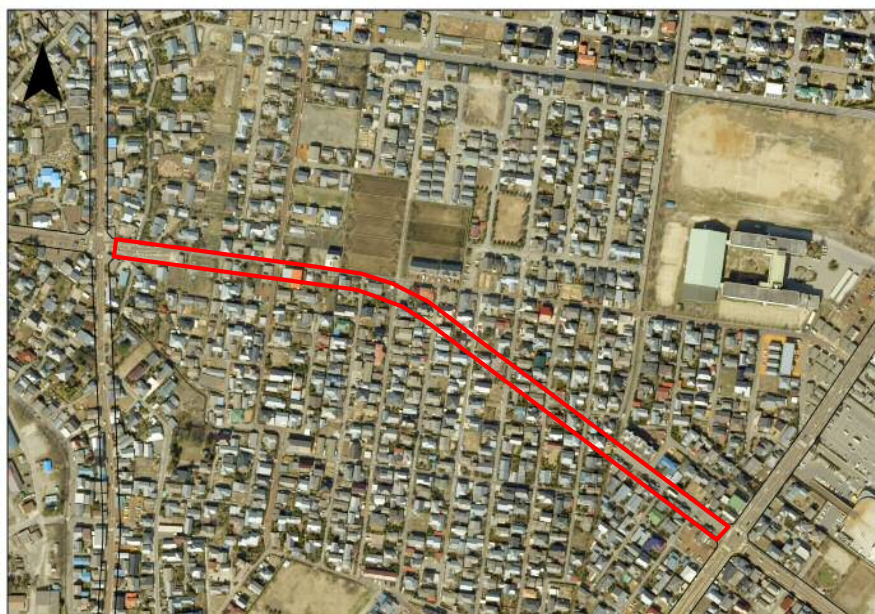


図2:アンケート結果

事業前写真

平成18年4月撮影



平成18年6月撮影



平成18年12月撮影



事業後写真

平成23年6月撮影



平成23年6月撮影



平成23年6月撮影

